

自立活動 分野別 指導プログラム (分野 B 発音・発語)

分野の目的	日本語の獲得に向けて、音韻意識を高める。 聴覚・音声器官の活用を個に合わせて行う。	
指導上の留意点	・子供の発達段階、聴力レベル、聴覚活用の状態、障害の状態などに合わせて指導する。 ・特定の時間のみでなく、子供の気持ちを大切にしながら、生活全般を通して行う。 ・子供の教育歴の違いに応じて、指導の始まりの段階を考える。 ・発音チェック等の検査結果を参考にする。(別紙添付)	
	B 発音・発語 指導プログラム	教材 誘導方法 *教材の使用方法・具体物については自立活動部員に問い合わせてください。
保 幼 部	(1) 身体を動かす遊びを楽しむ。 (2) 明るい声を出す。 (3) 話し手の動きや顔を見る。 (4) 声出し遊びをする。 (5) 口まね・声まねをする。 (6) 口の開閉・舌出しを模倣する。 (7) 口唇や舌、息を使った遊びを楽しむ。 (8) 口形(母音)の違いがわかる。 (9) 基本口形と音節数が一致する。 (10) 母音や半母音、両唇音などのやさしい音から清音すべての練習をする。 (11) 発音と文字が一致する。 (12) 音量調整ができる (小さい声、普通の声、大きい声) (13) 声と息、鼻音3つの区別ができる。 (見て言えればよい) (14) 清音・半濁音の発音練習をする。 (15) 促音の発音練習をする。 (16) リズム・アクセント・イントネーションの練習をする。	(1) チョチチョチ おつむテンテン ふれあいあそび まねっこあそび (CD・肉声) (2) いないいないばあ 声センサー付玩具 オノマトペ 呼び出し遊び カーテン付き窓(扉) (3) 手遊び 手をたたきましょ だるまん 大人が子供の声まねをする オノマトペ (4、5) ぬいぐるみ ままごと 鏡 ボール 「あっ！」 (6、7) チチボーロ 煎餅 きな粉 ラムネ ポッキー ミルクせんべい ジャム チョコクリーム 紙テープ 綿 色紙片 風船 シャボン玉 吹き戻し 吹き上げ はと笛 ラップ ティッシュペーパー ストロー玩具 鏡 発泡球 カラーセロハン ピンポン玉 吹き倒しあそび 羽根 ロウソク 風車 オノマトペ (8) 鏡 口形記号(文字)カード 口形カード (9) 指たて 文字 指文字 音節数サイコロゲーム 音節数の○の付いた名前カルタ 数字とドットのカード(1, 2, 3, 4, 5, 多) ハンドドラム(数概念の基礎・聴能と併せて) (10) 発音練習の準備体操として母音は毎日取り組む。 母音三角図 (11) ひらがなカード 口形文字カード 指文字 (12) 大中小の○カード 音量調整カード (13) 赤青黄カード 手指による振動確認 ティッシュペーパー 紙テープ 鏡 風船 セロハン 息、声、鼻音の息の長さ調整練習カード (14) 羽根 綿 ティッシュペーパー (15) 拍取り 息とめ (16) 口形模倣 歌 劇遊び ランゲージパル 言葉あそび 手拍子あそび 高低線

小学部	(1) 清音・半濁音・濁音など、既習音のおさらいをする。 (2) 効果的な呼気の使い方ができる。 (3) 自分の苦手な発音と発音要領を知る。 (4) 文字学習に合わせて、拗音・撥音・促音の発音練習をする。 (5) 発音器官の名称がわかる。 (6) 話し声の音量が安定する。 (7) 語頭・語中・語尾での発音練習をして、語の中でスムーズに発音する。 (8) 音声の強弱・高低の調節ができる。 (9) 既習音の発音の誤りが分かり、自分で直そうとする。 (10) 習得した音を、文章や会話の中で、スムーズに発音する。 (11) 言葉の抑揚や調子が安定する。 (12) 自然な間のとり方で話ができる。 (13) リズムに合わせて話したり歌ったりする。 (14) 相手に、発音が分かるように話そうとする意欲を持つ。 (15) 自分の話し方や発音の癖を知り、正しく話そうとする意識を持つ。	(1) ひらがなカード 50音表 たてに読む よこに読む 下から読む (2) 細くて長い息 シャボン玉 ピンポン玉ころがし 強くて短い息 風船 ろうそく (3) 発音チェック表 (4) 言葉カード 手をたたきながら言う (拍・音節) (5) 調音部位図 (6) 騒音計 声のものさし (7) 言葉カード 2音ずつ (あし・おと) → 1単語 (あしおと) (8) 騒音計 (9) 発音チェック表 (10) 音読集 (詩) (11) アクセントマーク 声の抑揚マーク (12) 復唱 早口言葉、畳語、回文などを楽しみながら発語する。 (13) リズム例 (××いぬ××わんわん) (14) 場面設定 UD トーク (15) 発音直視装置 Sインジケーター Nインジケーター 発音明瞭度検査 UD トーク
中学部	(1) 発音・発語の意義や必要性を理解する。 (2) 相手にわかるように話そうとする意欲をもつ。 (3) 自分の発音状態を知る。 (4) 既習音の発音の誤りとその発音要領が分かり、自分で直そうとする。 (5) 朝自立や授業等での、わたりの練習やリズム読みを通して、声を出して伝えることを習慣づける。	(1) 呼吸を整えること、声を出すことについて考える。 (舌・息・発声・腹式呼吸・発音サイン) 場面設定 (2) 歓迎遠足 (お店で注文)、交流学习 (伝言ゲーム)。 わく・ワーク体験、生徒会活動。 (3) 発音チェック表 (1学期聴力測定) 発音がんばり表 (朝自立) (4) 調音部位図、調音部位の名称。 苦手音の確認とその発音要領を知る。 発音発語個別指導 (発音発語 個別指導連絡票) (5) 息のばし 息遊び 舌体操 パバマ表 リズム読み 発音サインの読み取り 言葉当て

高等部	(1) 場に応じた発声・発語を心がける。 相手に、分かるように話そうとする意欲をもつ。 (2) 音韻意識を高め、正しい日本語を使おうとする。 (3) 日本語の全ての発音の要領が分かり、正しく発音しようとする。	(1) 面接練習を通じて、声の大きさ、発声、話し方などについて考える。 場面設定（面接練習など）正しい呼吸方法について知り、日常生活の中で意識して練習できるようになる。 (2) 発音チェック表（1学期聴力測定） 自分の苦手音を知り、発音要領を意識して発音する。 伝言ゲーム 正しく相手に伝える方法 (3) 個別指導による確認。 場面設定（就業体験など） あいさつの言葉がはっきりと発音できるようになる。
-----	---	--

※聾学校用国語言語編（小） 1年＜上＞ ②声を出しましょう ③色々な音を聞こう ④息を出しましょう ⑤母音 ⑥母音わたり ⑧鼻音 ⑨パ行 ⑩マ行 ⑪バ行 ⑫タ行 ⑬アーパ ⑭ナ行・タ行とのわたり パ行とタ行の比較 1年＜下＞ ①ダデド ②ハ行 ③カ行 ④シャ行 ⑦サ行 ⑨サ行の練習 ⑩ラ行・わたり ⑪ザ行 ⑫ガ行 2年＜上＞ ①母音の練習 パバマ長音・短音 ②パタカ・タダナ長音・短音 ③バダカ長音・短音 ④促音・マナカ長音・短音 ⑤撥音・サ行 ハサラ長音・短音 ⑥ハ行 2年＜下＞ ①ハサラ・バザガ・サザナ ②ザ行・マナカ ③サ行・ザ行・拗音 パ行・マ行・拗音 タ行・ナ行・拗音 ④カ行・ガ行・拗音 ハ行・拗音 ⑤ラ行・拗音	3年＜上＞ ①息と声 ②パバマ ③パタカ ④タダ ⑤バダガ ⑥マナカ 3年＜下＞ ①ハサラ ②サザナ ③タダラ ④カガカ ⑤拗音 ※聾学校用国語言語編（中） ◇ 母音 ◇ ①ワ ②ヤ行 ③ン ④パ行 ⑤バ行 ⑥マ行 ⑦タテト ⑧ツ ⑨チャ行 ⑩ダデド ⑪ナ行 ⑫ニヤ行 ⑬ハヘホ ⑭フ ⑮ヒヤ行 ⑯カ行 ⑰サスセソ ⑱シャ行 ⑲ラ行 ⑳リヤ行 ㉑ガ行 ㉒カ・行 ㉓ザズゼゾ ㉔ジャ行・ヂヤ行 ㉕ピヤ行・ビヤ行・ミヤ行 * 発音の指導はセクションごとに終了するものではなく、学部学年が上がっても、らせん状に繰り返しながら実施する。
--	--